



平成25年9月期 決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年11月5日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セプテーニ・ホールディングス  
コード番号 4293 URL <http://www.septeni-holdings.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 光紀  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清水 一身 TEL 03-6863-5623  
定時株主総会開催予定日 平成25年12月20日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日  
有価証券報告書提出予定日 平成25年12月20日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期の連結業績 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期	45,982	11.2	1,593	4.3	1,752	7.0	1,207	78.3
24年9月期	41,358	19.4	1,527	64.5	1,638	67.2	677	57.8

(注) 包括利益 25年9月期 1,251百万円 (63.1%) 24年9月期 767百万円 (83.7%)

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
25年9月期	47	90	46	56	17.2	11.5	3.5
24年9月期	26	91	26	22	10.9	12.3	3.7

(参考) 持分法投資損益 25年9月期 100百万円 24年9月期 113百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
25年9月期	16,023	8,380	8,380	47.3	300	26	
24年9月期	14,362	7,246	7,246	45.0	256	85	

(参考) 自己資本 25年9月期 7,574百万円 24年9月期 6,467百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年9月期	1,094	417	△85	6,570
24年9月期	1,183	△401	△242	5,131

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%		
24年9月期	—	—	—	1,000	00	1,000	00	125	18.6	2.0
25年9月期	—	—	—	1,400	00	1,400	00	176	14.6	2.5
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 平成26年9月期の配当予想は未定です。なお、配当の方針につきましては、「1. 経営成績・財政状態に関する分析(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。  
2. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成25年9月期については当該株式分割前の株式数を基準に記載しております。

3. 平成26年9月期第1四半期の連結業績予想 (平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期(累計)	12,400	13.8	580	99.5	590	74.5	340	82.2	13.48

(注) 通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は、決算短信(添付資料)「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期	27,011,200株	24年9月期	26,963,800株
② 期末自己株式数	25年9月期	1,784,600株	24年9月期	1,784,600株
③ 期中平均株式数	25年9月期	25,201,633株	24年9月期	25,168,700株

(注) 1 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については「4. 連結財務諸表（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

2 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年9月期の個別業績（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期	1,908	24.3	659	61.8	694	80.8	136	△44.4
24年9月期	1,535	5.7	407	△32.7	384	△35.2	246	△45.6

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
25年9月期	5	43	5	28
24年9月期	9	78	9	53

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
25年9月期	6,983		6,267		89.0		246	53
24年9月期	6,989		6,209		88.4		245	45

(参考) 自己資本 25年9月期 6,219百万円 24年9月期 6,180百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、連結財務諸表及び財務諸表に対する監査手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

(2) 配当予想金額に関して

平成26年9月期の配当予想に関しましては、通期の業績予想について開示が可能となった時点で配当予想額についても速やかに開示いたします。

(3) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料は、当決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載しております。また、決算説明会の動画等については、後日当社ホームページに掲載する予定であります。

・平成25年11月5日（火）・・・機関投資家・アナリスト・報道関係者向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 経営方針 .....	6
(1) 会社の経営の基本方針 .....	6
(2) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題 .....	6
4. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
5. その他 .....	20

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度(以下「当期」という。)における我が国経済は、平成24年12月に発足した現政権による経済・財政政策や金融緩和策の効果や期待感により過度な円高が是正されたことで、輸出産業を中心に企業の収益改善が進むとともに、個人消費にも回復傾向が見られるなど、景気は緩やかながらも改善基調で推移いたしました。

当社グループの主な事業領域であるインターネットビジネスを取り巻く環境につきましては、パソコンによるインターネット利用が日常生活に定着する一方、スマートフォンがその急速な普及により新たなインターネット利用デバイスとしての存在感を高めており、スマートフォン向けの広告や関連サービスの市場が拡大しております。また、SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)をはじめとするソーシャルメディアの台頭により、その特性を活かしたマーケティング支援やソーシャルゲームといった新たな事業機会も広がっております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、成長分野である「スマートフォン」と「ソーシャル」に注力した事業展開を推進し、主力のネットマーケティング事業において業容拡大と収益性の向上を実現することができました。また、将来的な競争力強化のために人材や新規事業等への先行投資も積極的に行いました。これらの結果、連結売上高は45,982百万円(前期比11.2%増)、営業利益は1,593百万円(前期比4.3%増)と増収増益を達成いたしました。経常利益については、投資有価証券評価益の増加等による営業外収益の拡大もあり、1,752百万円(前期比7.0%増)となりました。また、第2四半期においてグループ会社2社を売却したことで合計313百万円の特別利益を計上いたしました。

以上の結果、当期純利益は1,207百万円(前期比78.3%増)となり、売上高と全ての利益項目において過去最高を更新いたしました。

報告セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### ① ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを企業向けに展開しております。具体的には、インターネット広告の販売やウェブソリューション(サイト構築・運用、SEO等)の提供をはじめ、自社サービスとしてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型CRMサービスの運営を手がけております。

当期においては、景況感の改善と検索連動型広告に代表される運用型広告の需要拡大を背景に、順調に業容を拡大させることができました。特に、成長分野であるスマートフォン向け広告において売上高が前期比約2.6倍と大きく伸長したほか、当社グループが強みを持つ「Facebook」(世界最大のSNS)を活用したマーケティング支援サービスについても、ユーザー数増加やモバイル(スマホ)広告商品の供給開始によって取扱高が大幅に拡大するなど、注力分野において大きな成果を上げることができました。また、前期に設立した米国(サンフランシスコ)とシンガポールの現地法人では顧客開拓が進んだほか、自社サービスの開発拠点として新たにベトナムのハノイに現地法人を設立するなど海外での事業基盤整備も推進いたしました。

これらの結果、売上高は39,458百万円(前期比17.4%増)、営業利益は2,016百万円(前期比44.5%増)となりました。

#### ② メディアコンテンツ事業

スマートフォンや従来型携帯電話向けにソーシャルゲームをはじめ音楽、書籍、動画、占い等のデジタルコンテンツを企画・開発しSNSや携帯通信キャリア等様々なプラットフォームを通じて一般個人に提供しております。

当期においては、注力分野であるソーシャルゲームの新タイトルを積極的にリリースし業容の拡大を図りました。その結果、SNS上のブラウザゲームでは一定の存在感を維持いたしましたが、ネイティブアプリ(スマートフォン向けゲームアプリ)市場の成長といった事業環境の変化もあり、ソーシャルゲーム事業の売上高は前期比5%減の約20億円と伸び悩みました。環境変化を踏まえ、第3四半期以降は協業や受託案件に積極的に取り組み、収益改善と開発力の向上に努めました。その一環として、アクセルマーク(株)は初のネイティブアプリを(株)セガとの協業で手がけました。

一方、マンガコンテンツ事業をはじめとするゲーム以外の新規事業開発のための先行投資を積極的におこないました。

これらの結果、売上高は3,714百万円(前期比14.3%減)、営業損失は219百万円(前期は227百万円の営業利益)となりました。

(次期の見通し)

平成26年9月期においては、中長期の成長を見据えた新規事業への積極投資を継続しつつ、ネットマーケティング事業の利益成長により連結ベースの営業増益を目指してまいります。

ネットマーケティング事業については、注力分野である「モバイル」「ソーシャル」「グローバル」の3分野にフォーカスすることで持続的な業容拡大と収益性向上を図ってまいります。

メディアコンテンツ事業のうち、モバイルゲーム事業については経営資源の再編を実施し、市場の拡大が見込まれるネイティブアプリを中心に展開していく予定です。新規事業については、マンガコンテンツ事業を中心に収益化に向けた積極投資を実施してまいります。

(第1四半期の業績予想について)

当社は、四半期ごとの業績発表時に翌四半期までの業績予想を公表いたしております。

平成26年9月期第1四半期においては、主力のネットマーケティング事業は引き続き堅調に推移しており増収増益を予想しております。なお、同事業では、売上拡大による利益成長に加え、第1四半期のみの一時的な総利益増加要因が発生し営業利益を押し上げる見込みです。

メディアコンテンツ事業については、モバイルゲームの新タイトルの投入予定がないこともあり減収となる見込みですが、費用の抑制等により前年同期比では営業損失が縮小する見通しです。

このような状況を踏まえまして、本日下記の通り平成26年9月期第1四半期の業績予想を公表いたしました。

平成26年9月期第1四半期業績予想(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

売上高	12,400百万円
営業利益	580百万円
経常利益	590百万円
四半期純利益	340百万円

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

## (2) 財政状態に関する分析

### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産については、現金及び預金が1,539百万円、受取手形及び売掛金が745百万円増加したこと等により、前期末に比べて2,121百万円増加し、13,502百万円となりました。

固定資産については、ソフトウェア仮勘定が126百万円増加したものの、のれんが121百万円及び投資有価証券が267百万円減少したこと等により、前期末に比べて460百万円減少し、2,520百万円となりました。

以上の結果、資産合計は、前期末に比べて1,660百万円増加し、16,023百万円となりました。

(負債)

流動負債については、未払金が111百万円減少したものの、買掛金が637百万円及び短期借入金が189百万円増加したこと等により、前期末に比べて701百万円増加し、7,590百万円となりました。

固定負債については、長期借入金が126百万円減少したこと等により、前期末に比べて174百万円減少し、52百万円となりました。

以上の結果、負債合計は、前期末に比べて526百万円増加し、7,643百万円となりました。

(純資産)

純資産については、配当金の支払いにより125百万円減少したものの、当期純利益の計上1,207百万円等により、前期末に比べて1,134百万円増加し、8,380百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ1,439百万円増加し、6,570百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は1,094百万円(前年同期は1,183百万円の獲得)となりました。

これは、売上債権の増加753百万円及び法人税等の支払850百万円等があったものの、仕入債務の増加688百万円及び税金等調整前当期純利益1,999百万円の計上等が発生したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果獲得した資金は417百万円（前年同期は401百万円の使用）となりました。これは、定期預金の預入による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出59百万円及び無形固定資産の取得による支出160百万円等があったものの、投資有価証券の売却による収入617百万円等が発生したことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は85百万円（前年同期は242百万円の使用）となりました。これは、短期借入金の増加189百万円等があったものの、長期借入金の返済による支出137百万円及び配当金の支払いによる支出125百万円等が発生したことが主な要因であります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年 9月期	平成22年 9月期	平成23年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期
自己資本比率（％）	44.0	45.3	48.6	45.0	47.3
時価ベースの自己資本比率（％）	53.7	43.6	42.8	62.0	139.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（％）	531.2	122.0	155.5	73.7	77.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	13.5	66.2	46.5	116.6	180.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フローの対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- （注） 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。  
 2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。  
 3 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しています。  
 4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、下記の方針に基づき機動的かつ適切な配分を実施してまいります。

剰余金の配当につきましては、各事業年度の連結業績、財務体質の強化、今後のグループ事業戦略等を考慮して、連結当期純利益に対する配当性向15%程度を目安に実施してまいりたいと考えております。さらに、原則として1株当たり年間配当金の下限を1,000円（※）と設定することで、業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、配当の継続性・安定性にも配慮してまいります。また、内部留保金につきましては、成長性・収益性の高い事業分野への投資とともに、既存事業の効率化・活性化のための投資及び人材育成のための教育投資として活用してまいります。

上記の基本方針に基づき、当期の利益配当金は、期末配当金として1株につき1,400円を予定しております。

なお、次期の期末配当につきましても上記基本方針に基づいて実施する予定ですが、具体的な配当予想額については、通期の業績予想が開示可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

※平成25年10月1日付で1:200の株式分割を実施したことに伴い、平成26年9月期以降は5円となります。

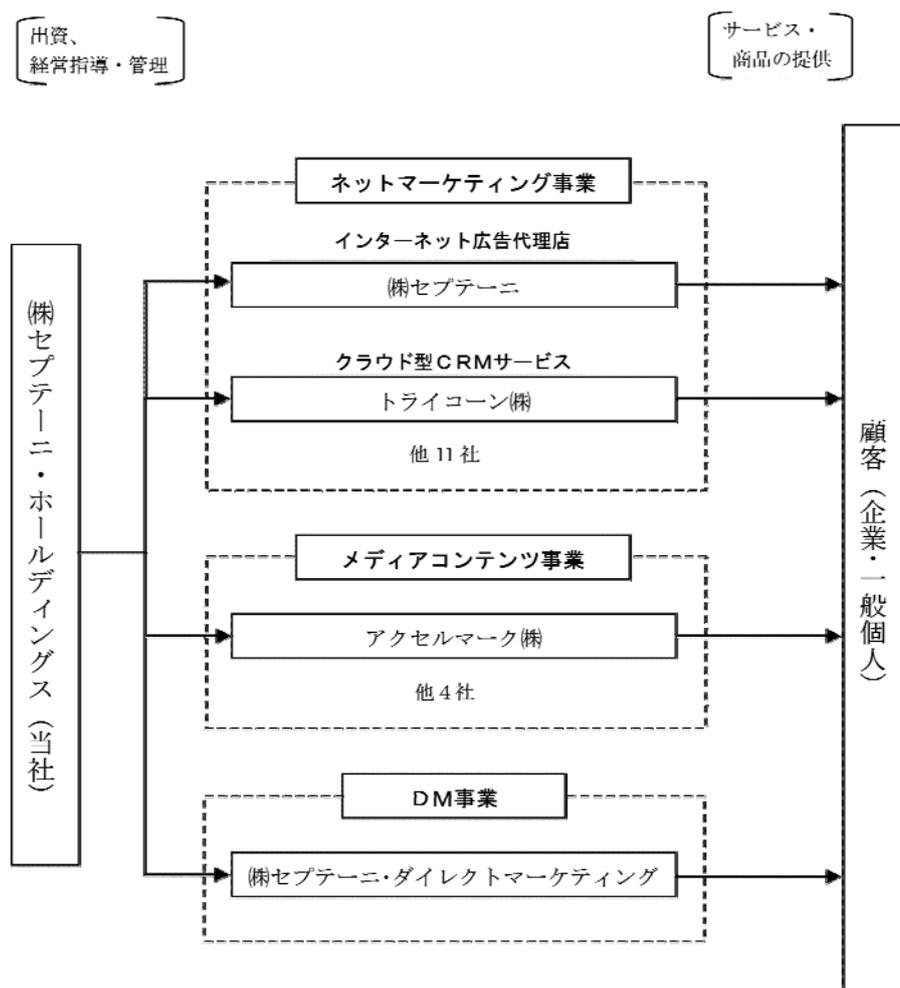
## 2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、平成25年9月30日現在、持株会社である株式会社セプテーニ・ホールディングス（当社）及び連結子会社19社、持分法適用関連会社2社により構成されており、ネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業及びDM事業を展開しております。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

事業名	事業内容	主要な連結子会社
ネットマーケティング事業	インターネット広告の販売、ウェブソリューション（サイト構築・運用、SEO等）、アドネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営、クラウド型CRMサービスの提供等、企業向けのインターネットマーケティング支援全般	㈱セプテーニ トライコーン㈱
メディアコンテンツ事業	スマートフォンや従来型携帯電話向けの各種デジタルコンテンツの提供（ソーシャルゲーム、音楽、書籍、動画、占い等）、モバイルメディアの運営等	アクセルマーク㈱
DM事業	販促ダイレクトメール等紙媒体の発送代行	㈱セプテーニ・ダイレクトマーケティング

（事業系統図）



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

平成23年9月期決算短信(平成23年11月4日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社のホームページ)

<http://www.septeni-holdings.co.jp>

#### (2) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

(中期経営計画の総括)

当社グループでは、次なる高成長事業を創出・育成し、持続的な企業価値向上を実現するために、平成25年9月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を策定し、実行してまいりました。

期間中は、ネットマーケティング事業を中心とする既存事業については概ね計画どおりに推移いたしましたが、ソーシャルゲーム市場の環境変化等により、BtoC自社サービスを中心とする新規事業の成長スピードが想定を下回りました。その結果、平成25年9月期の連結業績は、売上高459億円、営業利益15.9億円となりました。

一方で、本中期経営計画策定後は新規事業の開発が加速し、期間中は11件の新規事業を開始いたしました。そのうち8事業が現時点で継続中であり、今後の当社グループの成長に寄与することが期待されます。

(平成26年9月期以降の中期経営方針)

当社グループは、これからも引き続き利益成長を加速させていく所存であり、このほど策定した平成26年9月期以降の中期経営方針では、「利益倍増」をコンセプトにしております。これは、既存事業、新規事業を問わず高収益事業の構成比を高めるとともに、ネット広告に次ぐ事業の柱をつくっていくことで当社グループの更なる利益拡大と企業価値の向上を目指すものです。そのために、「モバイル」「ソーシャル」「グローバル」の3分野を注力分野として位置づけており、これらの分野を中心に既存事業の強化と新規事業の開発を推進することで、当社グループの更なる業容拡大と収益性の向上に努めてまいります。

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当連結会計年度 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,131,651	6,670,715
受取手形及び売掛金	5,624,447	6,370,263
商品	50,455	—
仕掛品	21,193	16,933
貯蔵品	6,908	5,436
繰延税金資産	175,692	135,495
その他	388,962	324,375
貸倒引当金	△18,044	△20,769
流動資産合計	11,381,265	13,502,450
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	227,072	156,720
工具、器具及び備品(純額)	100,294	99,317
その他(純額)	5,180	1,631
有形固定資産合計	332,547	257,670
無形固定資産		
のれん	527,839	406,243
ソフトウェア	59,383	47,660
ソフトウェア仮勘定	95,687	222,413
リース資産	63,602	—
その他	5,428	1,335
無形固定資産合計	751,940	677,652
投資その他の資産		
投資有価証券	1,231,692	964,609
敷金及び保証金	585,030	569,625
繰延税金資産	49,435	20,283
その他	30,840	31,316
貸倒引当金	△94	△278
投資その他の資産合計	1,896,905	1,585,556
固定資産合計	2,981,393	2,520,879
資産合計	14,362,659	16,023,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当連結会計年度 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,432,307	5,069,836
短期借入金	553,338	742,588
1年内返済予定の長期借入金	110,371	99,996
リース債務	30,783	1,488
未払金	355,983	244,563
未払法人税等	414,495	413,355
賞与引当金	275,063	305,737
返品調整引当金	720	—
事務所移転費用引当金	23,172	—
その他	693,100	712,835
流動負債合計	6,889,336	7,590,401
固定負債		
長期借入金	135,295	8,345
リース債務	42,282	245
その他	49,440	44,026
固定負債合計	227,017	52,617
負債合計	7,116,354	7,643,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,009,979	2,025,310
資本剰余金	3,110,912	3,120,395
利益剰余金	1,847,644	2,911,589
自己株式	△485,011	△485,011
株主資本合計	6,483,525	7,572,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,626	△10,875
為替換算調整勘定	△1,680	13,208
その他の包括利益累計額合計	△16,307	2,332
新株予約権	28,830	48,614
少数株主持分	750,257	757,078
純資産合計	7,246,304	8,380,310
負債純資産合計	14,362,659	16,023,329

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
 (連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	41,358,333	45,982,078
売上原価	32,724,980	37,106,891
売上総利益	8,633,352	8,875,186
返品調整引当金戻入額	822	720
返品調整引当金繰入額	720	920
差引売上総利益	8,633,454	8,874,986
販売費及び一般管理費	7,105,679	7,281,685
営業利益	1,527,775	1,593,301
営業外収益		
受取利息	1,487	5,841
受取配当金	1,309	1,704
投資有価証券評価益	8,102	52,658
持分法による投資利益	113,524	100,428
その他	22,470	40,304
営業外収益合計	146,894	200,936
営業外費用		
支払利息	10,148	6,077
株式上場関連費用	14,559	13,354
有限責任事業組合整理損	5,031	—
支払手数料	—	20,000
その他	6,693	2,152
営業外費用合計	36,433	41,584
経常利益	1,638,236	1,752,653
特別利益		
投資有価証券売却益	9,281	209,879
子会社株式売却益	—	103,197
持分変動利益	5,873	—
特別利益合計	15,155	313,076
特別損失		
減損損失	137,578	8,747
投資有価証券評価損	—	9,758
和解金	—	43,890
段階取得に係る差損	154,945	—
その他	49,930	4,137
特別損失合計	342,454	66,534
税金等調整前当期純利益	1,310,936	1,999,195
法人税、住民税及び事業税	609,900	705,296
法人税等調整額	△69,251	61,370
法人税等合計	540,648	766,667
少数株主損益調整前当期純利益	770,287	1,232,528
少数株主利益	93,105	25,332
当期純利益	677,182	1,207,196

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	770,287	1,232,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,306	3,532
為替換算調整勘定	△1,680	14,889
持分法適用会社に対する持分相当額	△219	219
その他の包括利益合計	△3,206	18,640
包括利益	767,081	1,251,168
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	673,976	1,225,836
少数株主に係る包括利益	93,105	25,332

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	2,007,848	2,009,979
当期変動額		
新株の発行	2,131	15,331
当期変動額合計	2,131	15,331
当期末残高	2,009,979	2,025,310
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	3,108,781	3,110,912
当期変動額		
新株の発行	2,131	9,482
当期変動額合計	2,131	9,482
当期末残高	3,110,912	3,120,395
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	1,296,288	1,847,644
当期変動額		
剰余金の配当	△125,826	△125,896
当期純利益	677,182	1,207,196
連結範囲の変動	—	△17,355
当期変動額合計	551,356	1,063,945
当期末残高	1,847,644	2,911,589
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△485,011	△485,011
当期末残高	△485,011	△485,011
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	5,927,906	6,483,525
当期変動額		
新株の発行	4,262	24,814
剰余金の配当	△125,826	△125,896
当期純利益	677,182	1,207,196
連結範囲の変動	—	△17,355
当期変動額合計	555,618	1,088,759
当期末残高	6,483,525	7,572,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	△13,100	△14,626
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,526	3,751
当期変動額合計	△1,526	3,751
当期末残高	△14,626	△10,875
為替換算調整勘定		
当期首残高	—	△1,680
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,680	14,889
当期変動額合計	△1,680	14,889
当期末残高	△1,680	13,208
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△13,100	△16,307
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,206	18,640
当期変動額合計	△3,206	18,640
当期末残高	△16,307	2,332
新株予約権		
当期首残高	33,082	28,830
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,251	19,784
当期変動額合計	△4,251	19,784
当期末残高	28,830	48,614
少数株主持分		
当期首残高	394,979	750,257
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	355,278	6,821
当期変動額合計	355,278	6,821
当期末残高	750,257	757,078
純資産合計		
当期首残高	6,342,866	7,246,304
当期変動額		
新株の発行	4,262	24,814
剰余金の配当	△125,826	△125,896
当期純利益	677,182	1,207,196
連結範囲の変動	—	△17,355
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	347,819	45,246
当期変動額合計	903,438	1,134,005
当期末残高	7,246,304	8,380,310

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,310,936	1,999,195
減価償却費	174,318	149,920
減損損失	137,578	8,747
のれん償却額	114,791	150,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,347	2,909
賞与引当金の増減額(△は減少)	120,548	30,674
事業損失引当金の増減額(△は減少)	△59	—
投資有価証券評価損益(△は益)	△8,102	△42,899
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,281	△209,879
受取利息及び受取配当金	△2,796	△7,545
支払利息	10,148	6,077
持分法による投資損益(△は益)	△111,408	△97,741
持分変動損益(△は益)	△4,934	—
段階取得に係る差損益(△は益)	154,945	—
子会社株式売却損益(△は益)	—	△103,197
売上債権の増減額(△は増加)	△824,260	△753,507
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,592	△643
仕入債務の増減額(△は減少)	251,582	688,782
その他	314,198	25,566
小計	1,634,451	1,846,960
利息及び配当金の受取額	2,796	7,545
利息の支払額	△10,197	△5,809
法人税等の還付額	90,907	95,838
法人税等の支払額	△534,899	△850,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,183,058	1,094,125
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△351,259	△59,773
無形固定資産の取得による支出	△115,902	△160,092
投資有価証券の取得による支出	△82,900	△30,049
投資有価証券の売却による収入	14,773	617,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△120,467	—
子会社株式の取得による支出	△41,590	△19,030
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△30,614
貸付金の回収による収入	1,436	207,090
敷金及び保証金の差入による支出	△72,899	△63,187
敷金及び保証金の回収による収入	361,796	43,870
その他	5,344	11,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,668	417,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△175,000	189,250
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△220,558	△137,325
少数株主からの払込みによる収入	11,023	—
配当金の支払額	△125,826	△125,896
少数株主への配当金の支払額	△1,440	△3,280
その他	△30,244	△8,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,045	△85,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,680	14,889
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	537,663	1,440,567
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,678	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,444
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△3,946
現金及び現金同等物の期首残高	4,453,309	5,131,651
現金及び現金同等物の期末残高	5,131,651	6,570,715

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、市場の類似性等を考慮して事業セグメントを「ネットマーケティング事業」、「メディアコンテンツ事業」及び「DM事業」の3つの事業区分としております。また、量的な重要性等の観点から「ネットマーケティング事業」及び「メディアコンテンツ事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの事業内容は以下の通りであります。

報告セグメントの名称	事業内容
ネットマーケティング事業	インターネット広告の販売、ウェブソリューション(サイト構築・運用、SEO等)、アドネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営、クラウド型CRMサービスの提供等、企業向けのインターネットマーケティング支援全般
メディアコンテンツ事業	スマートフォンや従来型携帯電話向けの各種デジタルコンテンツの提供(ソーシャルゲーム、音楽、書籍、動画、占い等)、モバイルメディアの運営等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	33,552,894	4,333,118	37,886,013	3,471,716	41,357,729	604	41,358,333
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	46,817	1,959	48,776	14,717	63,494	△63,494	—
計	33,599,711	4,335,077	37,934,789	3,486,434	41,421,223	△62,890	41,358,333
セグメント利益	1,396,226	227,941	1,624,167	154,091	1,778,258	△250,483	1,527,775
セグメント資産	8,996,993	2,182,489	11,179,482	929,514	12,108,997	2,253,662	14,362,659
その他の項目							
減価償却費	94,853	17,067	111,920	41,259	153,180	21,137	174,318
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	323,594	28,760	352,354	21,177	373,532	124,137	497,669

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DM事業及びコマース事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△250,483千円には、セグメント間取引消去8,201千円及び各事業セグメントに配分していない全社収益604千円及び全社費用△259,288千円が含まれております。全社収益は、主に非連結子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3 セグメント資産の調整額の項目に含めた全社資産の金額は2,253,662千円であり、その主なものは提出会社での現金及び預金、投資有価証券及び持株会社運営に係る資産等であります。

4 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成24年10月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	39,354,580	3,708,890	43,063,471	2,917,956	45,981,428	650	45,982,078
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	104,123	5,286	109,410	5,037	114,447	△114,447	—
計	39,458,704	3,714,176	43,172,881	2,922,994	46,095,875	△113,797	45,982,078
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	2,016,919	△219,469	1,797,449	160,552	1,958,001	△364,700	1,593,301
セグメント資産	10,203,427	2,229,501	12,432,929	728,555	13,161,485	2,861,844	16,023,329
その他の項目							
減価償却費	91,615	17,987	109,603	13,883	123,486	26,433	149,920
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	142,615	16,588	159,203	5,909	165,113	49,568	214,681

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にDM事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△364,700千円には、セグメント間取引消去7,025千円及び各事業セグメントに配分していない全社収益650千円及び全社費用△372,376千円が含まれております。全社収益は、主に非連結子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3 セグメント資産の調整額の項目に含めた全社資産の金額は2,861,844千円であり、その主なものは提出会社での現金及び預金、投資有価証券及び持株会社運営に係る資産等であります。

4 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自平成23年10月1日至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	全社・消去	合計
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
減損損失	812	6,271	7,084	130,494	137,578	—	137,578

(注) 「その他」の金額は、コマース事業に係る金額であります。

当連結会計年度(自平成24年10月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	全社・消去	合計
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
減損損失	4,582	4,165	8,747	—	8,747	—	8,747

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自平成23年10月1日至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	全社・消去	合計
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
当期償却額	—	104,753	104,753	10,038	114,791	—	114,791
当期末残高	—	527,839	527,839	—	527,839	—	527,839

(注) 「その他」の金額は、コマース事業に係る金額であります。

当連結会計年度(自平成24年10月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	全社・消去	合計
	ネット マーケティング 事業	メディア コンテンツ 事業	計				
当期償却額	—	150,500	150,500	—	150,500	—	150,500
当期末残高	—	406,243	406,243	—	406,243	—	406,243

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり純資産額	256円85銭	300円26銭
1株当たり当期純利益金額	26円91銭	47円90銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	26円22銭	46円56銭

(注) 1 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

2 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	677,182	1,207,196
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	677,182	1,207,196
期中平均株式数(株)	25,168,700.00	25,201,633.33
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	653,511.64	727,111.54
(うち新株予約権)(株)	(653,511.64)	(727,111.54)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	(新株予約権) 株主総会の特別決議日 平成17年12月20日 普通株式260,600株 (新株予約権1,303個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. その他

### 役員の変動

#### (1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

#### (2) その他の役員の変動(平成25年12月20日付予定)

新任取締役候補

取締役 瀬戸口 佳奈(現 株式会社セプテーニ常務取締役)